

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年8月6日(2009.8.6)

【公開番号】特開2006-212138(P2006-212138A)

【公開日】平成18年8月17日(2006.8.17)

【年通号数】公開・登録公報2006-032

【出願番号】特願2005-26548(P2005-26548)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月22日(2009.6.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

発射手段によって打ち込まれた遊技球が流下可能な遊技領域を有する遊技盤を備えた遊技機において、

前記遊技盤は、その遊技領域の少なくとも一部が入力された光を内部で反射させて表示面を発光させる導光板により形成されており、

さらに、前記導光板の内部に光を出力する光出力手段と、

前記導光板の表示面の発光に変化を与えるように前記光出力手段からの光出力を調整する導光板表示制御手段と、

を備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機において、

前記導光板は、表示面と対向する非表示面から厚み方向に所定の絵柄の凹凸加工が施され、当該箇所を透過する光を集光して表示面に向けて出力するよう構成された

ことを特徴とする遊技機。

【請求項3】

請求項1または2に記載の遊技機において、

前記導光板の非表示面に光を反射させる反射手段を備えた

ことを特徴とする遊技機。

【請求項4】

請求項1から3のいずれか一つに記載の遊技機において、

さらに、表面に着色、模様、またはこれらの組み合わせのいずれかが施され、前記導光板の非表示面に密着する着色部材を備える

ことを特徴とする遊技機。

【請求項5】

発射手段によって打ち込まれた遊技球が流下可能な遊技領域を有する遊技盤を備えた遊技機において、

前記遊技盤は、その遊技領域の少なくとも一部が入力された光を内部で反射させて表示面を発光させる複数枚の導光板を積層して形成されており、

さらに、前記複数枚の導光板の各層ごとに光を出力する複数個の光出力手段と、

前記導光板の表示面の発光に変化を与えるように前記複数個の光出力手段からの光出力を調整する導光板表示制御手段と、  
を備えたことを特徴とする遊技機。